

再評価時再評価結果(平成28年度)

担当課 : 徳島県砂防防災課

担当課長名 : 酒井 彰彦

事業の概要

事業名	通常砂防事業	事業区分	通常砂防事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県海部郡美波町日和佐浦	箇所名	山王谷		
事業概要	砂防堰堤2基(H=9.0m L=56.3m V=1885m ³ , H=9.5m L=49.7m V=1617m ³), 溪流保全工 L=36.5m, L=52.7m				
事業の目的・必要性	本溪流の上流部は荒廃が進行しており、出水時に土石流が発生すると下流の人家や道路等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 当地区内には、人家86戸や津波避難所である県職員住宅東棟、集会所があり、地域住民の人命や財産を守るため、平成23年度より通常砂防事業に着手した。				
総事業費	600 百万円	進捗率	39%		

位置図 計画概要図

位置図

山王谷通常砂防事業

流域概要図

①山王谷(全景)

②保全対象(避難所)

②保全対象(集会所)

④整備状況(堰堤)

①山王谷(全景)

凡例

- 砂防堰堤(予定)
- 砂防堰堤(既設)

事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度	B/C	残事業B/C	総費用	総便益
	平成28年度	10.1	14.7	6.5億円	用地費・工事費 等
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・保全対象の人家86戸とその住民の人命と財産を保全する。(一般資産被害軽減効果・人的被害軽減効果) ・津波避難所である県職員住宅東棟や集会所を保全し、地域の防災力の向上を図る。 				
社会経済情勢等の変化	H26.8月に発生した広島豪雨災害により土砂災害に対する防災意識が一層高まっている中、当事業の実施においては土砂災害に対して地域の安全や避難所を確保しながら、土地利用や保全対象に影響を与えることなく、防災面の向上に寄与している。				
事業の進捗状況	1基目の堰堤を整備中である。 現在の進捗率は事業費ベースで34%である。				
感度分析	感度分析の結果においても事業の効果は確保されている。 事業費+10%:9.2, 事業費-10%:11.2, 工期+10%:10.2, 工期-10%:10.0, 資産+10%:11.1, 資産-10%:9.1 残事業費+10%:13.5, 残事業費-10%:16.3, 残工期+10%:14.8, 残工期-10%:14.7, 残資産+10%:16.2, 残資産-10%:13.3				
事業進捗の見込み	平成32年度の完成を目指し、事業進捗を図る。				
対応方針	継続				
対応方針理由	地元からの要望も高く、事業進捗が見込めることから総合的に判断した。				

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

継続の理由

想定される被害や社会的影響も大きく、事業の効果は高い。
また、用地取得も済んでおり、事業進捗に向けての隘路も無い。
これらの状況を総合的に判断し、通常砂防事業を継続する。